

長崎歯科衛生士専門学校

令和4年度 第2回 学校関係者評価委員会会議録

日 時：令和5年3月22日（水曜）午後6時30分～7時40分
場 所：長崎県歯科医師会館 3階 学校会議室
出席者：【評価委員】7名
 【専門学校】4名

司会進行：井手教務部長

1. 開 会

2. 挨拶（岩永副校長）

3. 出席者紹介

4. 報 告

（1）第32回歯科衛生士国家試験について

- ・本校学生全員元気に会場入りした
- ・合格発表は3月24日（金曜）

（2）令和4年度卒業生就職状況について

- ・1人は国家試験自己採点后活動する予定

（3）令和5年度学生募集状況について

- ・次年度新入生については、定員を確保できなかった
- ・学生募集活動のさらなる工夫が必要と考える

（4）委員任期について

- ・今回の任期は6/30まで。継続が難しい場合は早い段階で教えていただきたい

5. 協 議

（1）令和4年度前期自己評価について

<基本方針・目標等について>

- ・教育理念は、人間性豊かな「人に優しい歯科衛生士」の育成

<教育目標>

- ・意欲がある歯科衛生士を育成するためモチベーションを向上、継続させるために重要な位置づけ
- ・講師評価表の検討、評価項目、講師への反映について検討
- ・国家試験合格率、令和2年卒業者より全体の成績が下がっているので基礎学力を上げる教育を行う
昨年から入学前教育として、入学が決まった生徒に国語、数学の課題を課すようにした
最初からやる気がない学生のモチベーションを上げることも課題となる
- ・重点的な目標や計画について
国家試験合格が最終目標だが、社会人としての常識、コミュニケーション能力が必要。コミュニケーション学の授業を増やす

<教育理念、目標>

・学校における職業教育の特色

歯科衛生士は、歯科診療所というグループに所属する職業であるため、現場の規則を守ることが大切。保護者への通知は現在年1回、計3回

①入学式後のオリエンテーションで説明

②2年生の後期（10月頃）、3年生の前期（5月頃）保護者を招いての総合患者実習時

③必要があれば、個別に面談

<学校運営>

- ・相談窓口の設置について2年ほど検討している

<教育活動>

・授業評価の実施、評価体制について

1年次の退学者が多い。モチベーション低下、成績不良が理由だが入学後よく説明すべきである
コロナの影響は大きい。部活動禁止や行事の中止など人と接することが減っていた

<学生支援>

- ・卒後の支援体制は、県歯科医師会のリワークキャリアアップ研修会に協力

<教育環境>

- ・防災に対する体制はコロナ禍で行っていない。令和5年後は4月下旬に避難訓練

- ・1.2年次講義で災害に関する講義を行っている

<学生の受入れ募集>

- ・ホームページの充実、NBCのpintという番組で動画を撮り掲載し今後も継続する

- ・歯科衛生士の職業周知動画を県歯科医師会と協力して作成している。3分程度の動画を4本4月作成。歯科衛生士という職業の強みをPRしていきたい

- ・オープンキャンパス計画

今年度はデンタルフェスティバル for キッズを新たに開催予定。小学校高学年に対し、歯科衛生士の職業の面白さ、夏休みの自由研究になるように検討

(2) その他

- ・学校評価について、評価しづらい点もあり、項目から今後検討する
- ・次回より評価委員のコメントは記名とする

6. 閉 会